



目まぐるしい変化の2020年が終わり、2021年が始まりました。しかし、コロナウイルスはいまだ猛威を振っています。with コロナで頑張っていきましょう。さて、新年となり、学習面・生活面ともに気持ちも新たに取り組んでいきたいところですね。中学校では第35期に生徒会執行委員もバトンタッチして活動しています。34期の活動を振り返りながら、より一層活気あふれる学校にしていきたいものです。それでは活動報告です。

## 2 学期高校生徒会活動報告



### 【第2回とちとこ祭】

今年はコロナの影響で、規制が多い中での開催となりましたが、クラスでの企画やクラスTシャツデザインコンテストなど、今年ならではの取り組みを行うことができました。

実行委員の皆さん、それぞれのクラスですばらしい企画を作り上げることができましたね。

とちとこ祭の動画はHPの保護者ページに載せていただいております。

### 【第2学期高校クラスマッチ】

今回のクラスマッチは、クラス人数や体育大会ができなかったことを考慮し、いつも行っているバスケットボールやバレーボールに加え、バドミントンや障害物競走を取り入れました。ぐるぐるバットや借り人競争など、普段行わない競技に苦戦しながらも楽しんでいました。



### 【対馬高校生徒会交流】



藩校のつながりから、対馬高校との交流を毎年行っています。今回はスカイプでの交流となりました。それぞれの文化祭について報告をし、質疑応答をしながら、意見交流を行いました。対馬高校さんもコロナウイルスの影響で、様々な面で工夫をしていたようですね。

### 【その他】

コロナウイルスの影響はまだまだ続きそうですが、自転車街頭指導や共同募金活動など、例年行っている取り組みも出来る限り行ってきました。また、東明館イメージキャラクター制作実行委員会についても、PICFAの方と打ち合わせをしながら制作に向けて進んでいます。報告の機会をお楽しみに★



## 中学生徒会より

11月の中学遠足において、皆さんから募集しました、川柳の選定が終了しましたのでご報告いたします。  
中学第34期・高校第32期の図書委員長・副委員長で選定しました。上位者をご紹介します。

### 第二位

中学三年一組 オリバー八尋恵美さん

山登り 冬近づいて 紅の

(説明)

最後の中学遠足で、冬が近づいてきて寒かったけど、紅の紅葉がたくさんみれた。

(評価)

「紅の」から余韻を感じました。

### 第一位

中学一年一組 岡田 優輔さん

秋の風 静かに揺れる ススキの穂

(説明)

冷たい風で静かに揺れているススキのイメージして詠みました。

(評価)

とても季節に合っていて、遠足に行った先の風景にもススキがあり、ぴったりです。秋のイメージとともに遠足の感想を入れていて良いと思います。

### 第二位

中学三年二組 岩崎樹美華さん

頂まで 光とともに 一歩ずつ

(説明)

まだつかないのかなと一歩ずつ歩くと、ちやうど光が見えたのでこのような句にしました。また、早く上がって昼ご飯を食べたいという気持ちで詠みました。

(評価)

「頂上」と読まず「頂」と書いているところに工夫が見えます。言葉の響きがとてもきれいです。

### 第二位

中学一年一組 渡辺清太郎さん

道違い 心の中は かみかくし

(説明)

トイレの道をまちがって、階段の行ける所までいってしまった。ああ、神隠しに遭えば怒られないのに。

(評価)

トイレの場所を「神隠し」とした表現は珍しく、面白いと思いました。

皆さん個性あふれる素敵な川柳をご応募いただき、ありがとうございました。

### 【第35期中学生徒会活動開始】

11月の中学生徒会長・副会長選挙の後、34期執行委員から引き継ぎを得て、中学2年生中心の35期執行委員が活躍しています。



## 【第34期中学生徒会執行委員より、活動を終えて】

一年間の反省は、あまり仕事ができなかったということです。まだ、任期があるから大丈夫とずっと思って仕事をあまりしなかったため、どんどんと任期の終わりが近づき、そのまま活動が終わってしまいました。しかし、自分は、34期生徒会で活動できて良かったと思っています。時々めごともありましたが、最後の遠足が終わって、みんなの前で話している時に、少し寂しい気持ちになりました。生徒会の中でたくさんのことを学んだので、それを糧にして、色々なところで活かすことができれば良いなと考えています。（第34期会長 岩崎 勝栄）

僕は生徒会に入ったことで、多くの学びや発見がありました。生徒会に入ってとても大切だなと思ったことは、責任です。僕は選挙に立候補する前もした後もよく問題行動を起こしていました。それで先生によく迷惑をかけていましたが、指導を受けるにつれて、責任というものの大切さを実感することができました。また、ある物事の運営をするにあたって思いもよらないトラブルが起こることがほとんどでした。事前にトラブルが起こらないように対策を練っていましたが、それでもトラブルは発生しました。自分たちが思っているように物事が進まないことはなかなかキツかったなと思います。ですが、そこでは臨機応変に対応する力が備わったのではないかと思います。今年はコロナウイルスによってできなかったことがたくさんありました。来年は多くのイベントなどを開催してほしいなと思います。今年の2年生は変わった人が多いので何をするか楽しみです。

（第34期副会長 井上 太雅）

今年はコロナの影響もあって多くの行事がなくなってしまった。だからこそ、遠足の縦割り班やオンライン中学集会などの今までとは違う取り組みができた。反省もあるが、チャレンジがたくさんできた一年だったと思う。生徒会書記という責任のある役職をやらせていただいてたくさんの経験をした。普段は物の管理が苦手だったが、書記という役割を担ってからは改善され、手帳をつける習慣がついたのは、私にとって大きい。また、役職に関係なく行事や活動では一緒に仕事をさせていただいて、会長と副会長に感謝している。35期も正直コロナはまだおさまらず、できないことが多くあるかもしれない。でも、その中でやれること、チャレンジすることを見つけてほしい。それと、自分が何かを変えたいなら、自ら関わって、その物事の中心に行って、見て、聞いて経験を

してほしい。シンプルに楽しい。生徒会入ってみるのもありなんじゃないでしょうか！

（第34期書記 具嶋 葵）

放課後や昼休みに会議があるし、行事を仕切らなくてはならないしで、生徒会の仕事は大変です。これからの一年間の活動で、何度も「面倒臭い」「きつい」と思うことがあるかもしれませんが。ですが、終わってみると、生徒会やってよかったな、と思うようになります。そういうものです。生徒会活動という貴重な時間を、是非有意義に使ってください。（第34期HR委員長 三輪玲大）

コロナウイルスが広がってしまい、私たちの代はできることが少なくなってしまいました。けれど、学校が再開し、それぞれの委員会ができることを考えて動くことができました。最後の遠足は、とても反省する点が多かったけど、ベストを尽くすことができたと思います。だから、次の生徒会には、もっと楽しいことやできることを企画して、中学全体を盛り上げて行ってほしいです。ありがとうございました。

（第34期HR副委員長 原武 真凜）

今年は、コロナのこともあり、なかなか思うような活動ができなかったですが、私はとてもこの生徒会が好きで濃い思い出になりました。これからこのメンバーで活動することがないと思うと残念に思いますし、少し悲しいです。35期の生徒会たちには、私たちができなかった新しいことにもチャレンジしてほしいです。1年間ありがとうございました。（第34期代議員長 木村 愛子）

代議員になる人は、明確な仕事はほぼないに等しいので困ることもあると思いますが、めげないで頑張してほしいと思います。（第34期代議副員長 柿本 颯太）

一年間風紀委員長を務めて、本当に色々な貴重な体験ができました。委員会の同級生や後輩をまとめたり、委員会活動の目標を中学生全員の前に立って伝えたり、生徒会の役員として中学校をまとめる立場になったりと、本当に貴重な体験でした。特に十月初めの一週間毎朝の服装チェックを行うという取り組みを中学校全体でできたことがうれしかったです。また、週番を行って、部屋の戸締まりや見回りなどの仕事を経ることができました。次の風紀委員長に頼みたいことは、もっとしっかりした性格のカッコイイ人になってみんなを引っ張ってほしいと思います。一年間、ありがとうございました。

（第34期風紀委員長 加来 北斗）

もう少しちゃんと仕事をするべきだった。だが、与えられた分はしっかりやりとげたと思う。中2で生徒会に入ったが、楽しかった。先輩から教わるが多く、充実していたと思う。(第34期風紀副委員長 原圭汰)

自分が美化委員長として、生徒会を運営してきた上での反省点は、中庭の掃除などの仕事ができていなかったことです。花の球根植えなどは、できたのですが、美化委員としては、もうちょっと活動がしたかったです。最後に第35期生徒会に向けては、生徒会を中心にいつも原義でいてください。中学生は元気の良いたことが自慢なので、それを絶やさず、色々なことに取り組んでください。あと一つは、第34期生徒会が出来なかったクスマッチなどの運営をよろしくをお願いします。

(第34期 美化委員長 渡辺 耀仁)

美化委員としての仕事はだいたいしっかりできたから良かった。コロナの影響で、生徒会の仕事は少なかったけど、協力できていたから良かった。次の生徒会も今回の遠足で出た反省点などをしっかり生かしてがんばってほしい。

(第34期美化副委員長 丸林 玄人)

放課後の会議にあまり参加できなかった。行事があるときに、その時使う道具を用意するのがぎりぎりだった。コロナがあったから、行事があまりなかったけど、自分たち中心で運営するのはとても楽しかった。生徒会の中2の人とも少し仲良くなれたし、よかった。次の委員長たちへ、何かするときには時間に余裕をもった方がいい。あと、先生たちと仲良くした方がいい。

(第34期 体育委員長 園田 玲奈)

今年はいろいろなことを新しく始めました。なかなか上手くできないところや、考えが回らなかった部分があって、生徒の皆さんなど混乱させたり、生徒会自体が上手く回らなかつたりすることがありました。だけどその中でもすぐ考えを出したり行動したりと補い合って、大変でしたが乗り越えていけたと思います。次の第35期中学生徒会では、今年できなかったところやだめだったところをふまえて、改善してもっと行事をよりよいものにしていきたいです。

(第34期体育副委員長 糸山優衣)

保健委員長としての仕事で、保健に関するのをもう少しできたらよかったと反省しています。あと、前に立って発言するときに、一つ一つの言葉をわかりやすく伝えることができたのもっとみんなに伝わったかなとも思っています。新型コロナウイルスの影響で私たちができ

ることが前の生徒会に比べて少なくなってしまったのは残念だけど、私たちにできることをしっかりできたと思う。何かをやり遂げた後の達成感は大きくて、とてもうれしかった。なかなかできない体験をできて良かった。

(第34期保健委員長 佐藤 ひかる)

1年間、自分が家の用事で参加できないことが多く、保健委員長に迷惑をかけていたなと思います。だけど、実際に生徒会に入って、皆のために何かをする、皆のために活躍するということをして、とても嬉しかったです。今後のための良い経験になりました。今年経験した、生徒会活動でしたことを忘れずに、3年生になってもがんばりたいと思います。委員長・副委員長として大変なことはたくさんあります。中学代表でやっていくのはとても大変できつときもあるけれど、私たち第34期生徒会は頑張ってきたので、それを引き継ぐということで、皆が笑顔にするためにと思って第35期でも頑張ってください。わからないことがあれば第34期生徒会に聞いてください。

(第34期保健副委員長 利根 和奏)

今までありがとうございました。

(第34期文化委員長 後藤 莉子)

第34期で活動してみて、もっと自分で動ける場面があった、たまにぼーっとしていることがあった、提出しなければいけないものをぎりぎりに出すことがあった、などが自分の反省です。ただ、先輩と仲良くなれたし、行事ごとに色々な人と仲良くなれて楽しかったです。山登りは凄く大変だったです。第35期では準備は計画的に行ってください。

(第34期文化副委員長 音成芹菜)

あまり委員長として動くことができなかった。でも図書委員長になって普段できないことが経験できたので良かった。皆さん読書を頑張ってください。

(第34期図書委員長 小鳥居 琉宇)

私は1年間を通して、貴重な経験ができたなと思ってます。コロナ禍であまり行事をすることはできませんでしたが、会長を中心に、少しですが良いものを作れたんじゃないかと考えました。初めてこういう場に参加してみたのですが、活動はとても楽しかったので、高校の生徒会でもこういう場に参加してみようと思いました。第35期中学生徒会に伝えたいことは、第34期よりよいものを作り上げてほしいということです。

(第34期図書副委員長 岩崎 樹美華)

34期執行委員の皆さん、本当にお疲れさまでした。  
そして、ありがとうございました。